

2022年9月25日

人文社会科学部後援会事業報告書

人文社会科学部法律経済学科

経済学・経営学メジャー

メジャー専門ゼミナールⅠ／Ⅲ 後藤玲子研究室

申請者氏名： 後藤 玲子

事業区分： 保護者との連携事業 学生の教育研究活動支援
学生の就職活動支援 学生の地域貢献
学生の生活向上 その他

対象学年： 1年次 2年次 3年次 4年次

参加学生数： 9人（3年次6人、4年次3人）

実施日時： 2022年9月20日（火）～21日（水）にてゼミ合宿を実施した。

目的： 箱根・小田原の観光、町の様子の実態・課題に関するフィールド調査。箱根・小田原の観光やまちづくりがどのように成功しているのか、それを水戸市にどのように活用することができるのか、また箱根・小田原と水戸市の町の様子を比較し、水戸市への政策提言発表会に向けて参考にできないか実地調査する。

調査内容：

箱根の商店街では、温泉街にちなんだ商品や、饅頭などの食べ歩きしやすいものが多かった。また道には屋根がついており、雨の中でも歩きやすい工夫がされていた。小田原では、城下町という特徴を利用したまちづくりが行われており、景観を壊さないような工夫がみられた。特に、コンビニエンスストアが景観を壊さないような色合いになっていたのが印象的だった。どちらの町も、観光地としてのまちづくりがうまくなされていた。

課題としては、観光客によるごみのポイ捨てが挙げられる。これにより景観が崩れてしまっていたところもあるため、観光客を増やす政策を考える場合には気をつけるべき点だと考えた。

今回の調査から、箱根・小田原はその土地の特徴を生かしたまちづくりを行っていることが分かった。水戸市も水戸市の特徴を生かしたまちづくりをすることで、水戸市のブランドイメージを定着させながら、観光客を呼び込むことができるのではないかと考えた。

